

# 一般会計決算 湖南市のお財布の中身は

一般会計は、福祉や教育、道路整備など行政の基本的な事業を行う会計です。

# どうなっているの？ 平成27年度 財政状況

皆さんの税金は、主にこの一般会計に使われています。

☎財政課(東庁舎) ☎71・2317 ☎72・3390

## 一人当たりの市税負担額

市税83億6,071万円÷市民54,843人 = **152,448円**

税目	1人当たりの市税額	決算額
市民税	65,831円	3,610,303千円
(内 法人)	13,446円	737,436千円
固定資産税	76,640円	4,203,155千円
市たばこ税	7,569円	415,139千円
軽自動車税	2,408円	132,051千円
鋳産税	0円	65千円

※人口…平成28年4月1日現在



金額が大きすぎて、あまりよくわからないどん。

それじゃ、市民一人当たり年間でどれだけ税金を負担している、どれだけ支出しているのか見てみるニャン。



## 市民一人当たりの支出額

一般会計歳出  
204億7,958万円÷市民54,843人 = **373,422円**

民生費 (福祉サービスの提供)	教育費 (学校や生涯学習など)	総務費 (市役所の運営)	公債費 (市債の元金や利子の償還)	衛生費 (医療やごみ処理)	土木費 (道路や河川の整備)	消防費 (救急・消防活動)
118,206円	75,439円	46,232円	41,865円	34,579円	29,546円	12,194円

農林水産業費…5,668円、その他(議会費・商工費など)…9,693円

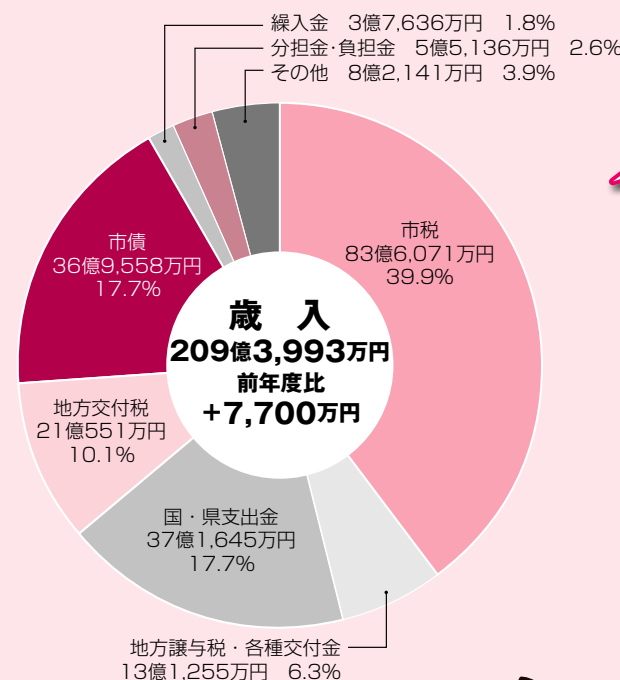
## 平成27年度歳入と歳出のあらまし(前年度比較)

### 歳入

市税収入は83億6,071万円、前年度(86億5,836万円)と比較すると△3.4%となりました。そのうち税制改正による法人市民税が△29.0%、軽自動車税は増税により+2.9%となりました。また、個人市民税は+1.0%、固定資産税は△0.4%でほぼ横ばいとなりました。その他地方交付税+3.1%、消費税引き上げにより地方消費税交付金+71.2%、ふるさと納税での特産品返礼の開始により+2,669.2%(+64,647千円)となりました。

### 歳出

投資的事業については前年度比△10.3%ではありますが、石部小学校や夏見会館の建替事業や三雲駅周辺整備事業など積極的な投資により37億281万6千円となりました。また、社会福祉費の増加により扶助費+3.9%、物件費は指定管理委託の施設数増加により+6.5%の前年度比となりました。一方で、人件費は△0.4%、公債費は△4.0%、維持補修費が△30.4%となりました。



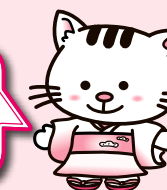
国・県支出金も皆さんが納めた所得税や県民税などから交付されているものニャン。



### 歳入 用語解説

- 市税** 市民税や固定資産税など
- 譲与税・各種交付金** 自動車重量譲与税、地方消費税交付金など
- 国・県支出金** 国・県が必要と認めた事業に対しての交付金など
- 地方交付税** 市の財政状況に応じた国からの交付金
- 市債** 国や金融機関からの借入金
- 分担金・負担金** 保育料、学校給食費負担金など

歳入から歳出を引いた4億6,035万円のうち、2億1,035万円を28年度に繰越、2億5,000万円を貯金したニャン！！



### 歳出 用語解説

- 義務的経費**
  - 人件費** 職員の給与、議員や委員の報酬など
  - 扶助費** 障がい者や高齢者福祉、生活保護など
  - 公債費** 借入金の返済
- 消費的経費**
  - 物件費** 各種事業の運営にかかる事務経費など
  - 補助費等** 団体運営や事業などに対する補助金や負担金など
- その他**
  - 繰出金** 特別会計に対する財政的支援としての支払金

義務的経費である人件費・扶助費・公債費の割合が大きいです。

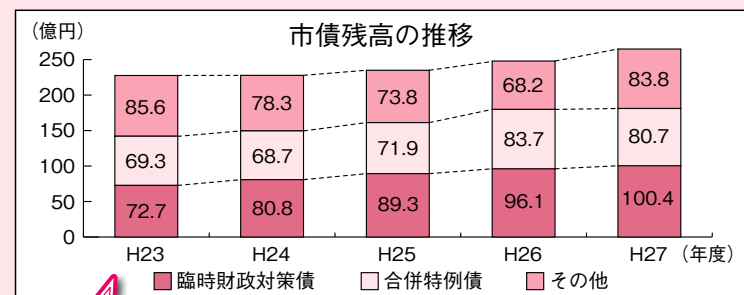


高齢化社会が進むことで、扶助費は今後も増える見込みニャン。



## 市債の残高はどうなっているの？

市債は、学校や道路など長期にわたり使うものの建設のために、国や銀行などから借入れする市の借金です。平成23年度と比較すると37.3億円(+14.1%)増加しています。



地方交付税措置のある有利な借金を選択しています。

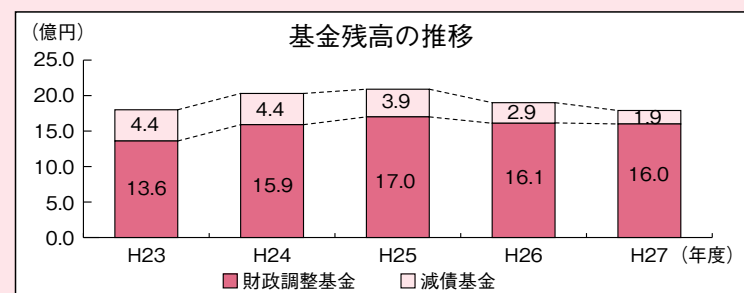
### 【理由1】臨時財政対策債の増加

臨時財政対策債は、国から市に交付される地方交付税の予算が足りないため、不足分の一部をとりあえず市に借金させて、借金の返済時に地方交付税として返済分全額を市に返すという趣旨で設けられているものです。

### 【理由2】合併特例債の残高が増加

合併した市町村は地域格差の是正のために公共整備を行います。その財源を合併特例債という借金でまかなっており、返済額の7割が地方交付税として交付されることとなっています。なお、平成27年度末における発行残高は26.8億円で発行期限は平成31年度までです。

## 貯金はどれくらいあるの？



家庭の貯金にあたるものが基金になります。平成27年度末の財政運営のための基金(財政調整基金、減債基金)の残高は17.9億円です。この基金は、経済情勢の変化による年間の収支の変動に対応し、安定的な財政運営のため必要になります。平成22年度以降、現在まで適正な水準が確保できています。

## 湖南省の財布を家計に置き換えるとどうなるの？

こなんし家の家計で見てみよう

夫婦と夫の両親、子どもは大学生1人と高校生1人の3世代同居。夫の両親の介護で毎月の医療費がかさみ、家をバリアフリー化し、そのための資金を借入している。妻方の家に毎月援助をしてもらって…。こんなイメージで見てみましょう。

収入		支出	
給与等収入 【市税・地方交付税・交付金等】	3,048,000 (254,000)	食費 【人件費】	807,000 (67,300)
売電収入・地代 【使用料・負担金分担金等】	308,000 (25,700)	医療費 【扶助費】	936,000 (78,000)
親からの仕送り 【国県支出金】	962,000 (80,200)	衣服代・光熱水費 【物件費】	884,000 (73,700)
借入(住宅・学資) 【市債】	956,000 (79,700)	家の改修、家電の買替 【普通建設事業費等】	973,000 (81,100)
貯金の取崩し 【繰入金】	97,000 (8,100)	子どもの学費・仕送り 【繰出金・補助費等】	1,067,000 (88,900)
前年の繰越 【繰越金】	48,000 (4,000)	借入の返済 【公債費】	594,000 (49,500)
		貯金 【積立金】	38,000 (3,200)
<b>収入合計</b>	<b>5,419,000</b> (451,700)	<b>支出合計</b>	<b>5,299,000</b> (441,700)
<b>借入残高</b>	<b>6,855,000</b>	<b>貯金残高</b>	<b>462,000</b>

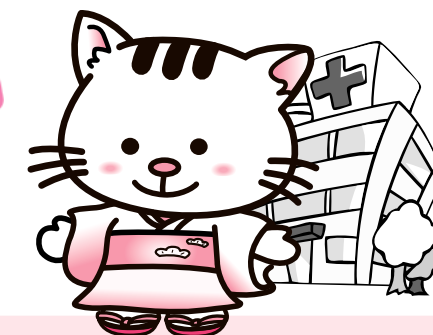
こなんし家では「給与等収入」(市税等)は一定ありますが、「借入(住宅・学資)」に頼っていることがわかります。これは、「家の改修、家電の買替」(普通建設事業費等)にかかる支出の資金とするため借金をしているのです。また、収入側で「親からの仕送り」(国県支出金)が多くなっています。

一方、支出では「子どもの学費・仕送り」(繰出金・補助費等)がありますが、これはこなんし家が認めた子どもにかかる経費(特別会計繰出金、補助金・負担金等)について支出しているものです。

こなんし家では、借入残高が年々増加傾向にありますので、これ以上増えないように身の丈にあった生活をし、何かあったときのために貯金を一定額残しておきつつ、家族が活躍できるようお金のやりくり頑張っています。

※下段にある( )内の金額は、月単位での金額です。  
※この家計簿の作成にあたり、厚生労働省の平成27年国民生活基礎調査における1世帯あたり平均所得金額541万9千円を参考に計算しています。  
※貯金は財政調整基金と減債基金の合計額をもとに計算しています。

# お財布の健康診断を してみましよう！



## お財布の健康を診断する比率ってなに？

### 健全化判断比率とは？

平成19年に「財政健全化法※」という法律ができ、各自治体に財政の健全性を表す4つの指標を公表することが義務付けられました。

※正式名称「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」

財政指標	内容	平成27年度	平成26年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	赤字なし	13.03%	20%
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計、企業会計全ての会計の赤字の割合	赤字なし	赤字なし	18.03%	30%
実質公債費比率 (3か年平均)	年間の借金返済額の割合	11.5%	11.4%	25%	35%
将来負担比率	将来負担が見込まれる負債の割合	64.0%	59.8%	350%	

ふむふむ。湖南省は健康ですニャン。今後もしっかり体力をつけて、市民のために頑張ってもらいたいニャン。



この数値(早期健全化基準)を超えると、改善計画を作らないといけないし、もっと悪くなる(財政再生基準を超える)と国の指導・監督が入って活動が制限されてしまうニャン。



## 財政指標から見ると

財政指標	内容	平成27年度	平成26年度	県内平均(参考)
経常収支比率	市税など自由に使える収入のうち、扶助費や公債費など毎年必ずかかる経費にどれだけあてられているかを示す割合です。比率が低いほど自由に使えるお金が多いことになります。	94.7%	94.1%	88.7%
財政力指数 (3か年平均)	標準的な行政サービスを行うためのお金を自らまかなえる割合。1に近く、または超えるほど財布に余裕があるものとされています。指数が小さい場合は、国から交付税を多くもらえることになります。	0.867	0.870	0.732



財布にお金があっても、自由に使えるお金は少ないということどん。

人件費、物件費、公債費、補助費等の支出を抑えるため、行政改革を頑張るニャン。







## 平成27年度会計決算額・平成28年度上半期各会計予算執行状況

平成28年度各会計執行状況については4月から9月までの主なお金の動きです。(平成28年9月末現在) 引き続き厳しい財政状況を踏まえ、効果的な事業執行を徹底し、市民サービスの向上に努めていきます。

		企業会計				
		水道事業会計		下水道事業会計		訪問看護ステーション事業特別会計
		収益的収支	資本的収支	収益的収支	資本的収支	収益的収支
平成27年度	歳入決算額	15億882万円	2億1,918万円	/	/	4,827万円
	歳出決算額	13億6,631万円	4億9,396万円			4,903万円
	差引額	1億4,251万円	▲2億7,478万円			▲76万円
平成28年度	予算額	15億700万円	収入 4億8,495万円 支出 7億2,896万円	収入 18億5,217万円 支出 18億2,553万円	収入 12億6,770万円 支出 18億2,585万円	5,936万円
	収入済額	5億7,329万円	1,216万円	8億1,925万円	1億3,929万円	2,644万円
	収入率	38.0%	2.5%	44.2%	11.0%	44.5%
	執行済額	4億4,091万円	1億9,979万円	3億2,413万円	6億8,051万円	2,591万円
	執行率	29.3%	27.4%	17.8%	37.3%	43.7%

		一般会計	特別会計					
			住宅新築資金等貸付特別会計	国民健康保険特別会計	国民健康保険診療所特別会計	後期高齢者医療特別会計	介護保険特別会計	公共下水道特別会計
平成27年度	歳入決算額	209億3,993万円	1,824万円	59億8,086万円	5億3,181万円	4億1,658万円	28億944万円	25億6,222万円
	歳出決算額	204億7,958万円	1,824万円	58億5,083万円	5億398万円	4億502万円	27億7,649万円	24億9,262万円
	差引額	4億6,035万円	0円	1億3,003万円	2,783万円	1,156万円	3,295万円	6,960万円
平成28年度	予算額	226億6,298万円	/	59億9,491万円	5億5,662万円	4億3,797万円	28億6,515万円	/
	収入済額	81億422万円		23億4,403万円	2億1,245万円	1億8,365万円	13億548万円	
	収入率	35.8%		39.1%	38.2%	41.9%	45.6%	
	執行済額	83億1,183万円		24億6,038万円	1億9,100万円	1億6,957万円	11億6,959万円	
	執行率	36.7%		41.0%	34.3%	38.7%	40.8%	

※公共下水道特別会計は、平成28年度から企業会計に移行しました。

## 農業委員会法が改正されました

(平成28年4月施行)

### ● 農業委員の選出方法が変わりました

選出方法が公職選挙法に基づくものから、市長が議会の同意を得て任命する方法になりました。

### ● 農地利用適正化推進委員が設置されました

今後の農地利用の推進を目的に設置され、農業委員と協力し、農地利用の適正化に向けた現地活動を行います。

※湖南市農業委員の任期は平成29年7月19日までのため、経過措置により任期までは現在の農業委員が務めます。

問産業立地企画室(共同福祉施設) ☎71・2353  
農業委員会事務局(東庁舎) ☎71・2362

### 農業委員、農地利用最適化推進委員 選任のイメージ図

